



3歳児 9月のみかん組

ヒマワリあったよ。
大きい！



もも組さんがヒマワリの種を集めている様子を見て、みかん組も種を集めてみたくなりました。



みんなで運ぼう。



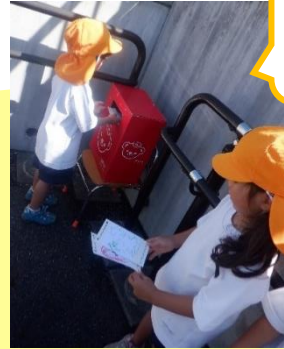
「食べたいな…」
の声に応じて…
炒った種をいただき
ました☆



～敬老の日～
おじいちゃんおば
あちゃんに絵を
かき、幼稚園の
ポストにハガキを
投函しました。



じいじと ばあばのこ
ろに届きますように…



後日、「ハガキが届
いたよ」と連絡があっ
たことを、嬉しそうに
教えてくれました。



砂場に新たな
砂山が登場。
水を使って遊
びながら、ドロ
ドロぬるぬるし
た感触を楽し
みました。



登園すると、プールに黒い虫がいることを発見。
「どうやって捕まえようか」試行錯誤しながら虫を
捕まえることに成功しました。



帽子で捕まえよう

これで捕まえられるかも。



早くふたをして！



捕まえた虫(コオロギ)
が鳴いてる！



「コオロギさんも一緒に歌ってる」
「お話してるのかな」と、コオロギ
に思いを寄せていました。



4歳児 9月のもも組

メダカの 引っ越し



夏休みが終わり、水槽の中をのぞいてみると…メダカが1匹しかいません。

「さみしそう」とつぶやいたことをきっかけに職員室のメダカを分けてもらうことにしました。



「でもメダカを何で運ぼう…」。考えた末にたどり着いたのは、カップ容器！



ようこそメダカさん！



職員室との間を何度も往復し、メダカの引っ越しを無事終えることができました。

段ボール紙を貼り合わせようと持ってきた布テープを手にした子ども達。すると…



転がったよ！

ベンチをつなげて道を長くしよう。



ゴールまで行くかな…。

やったあ！



転がして遊ぼう ～ 布テープをきっかけに～

次の日、段ボール紙を使ってコースを広げて円錐の積み木を転がして遊びました。



今度は積み木を使ってコースに高低差を付けて転がし始めました。



遊具ではない布テープではありますが、幼児は身近なものから遊びを広げていきます。幼児ならではの発想を大切に育てていければと思います。



5歳児 9月のすみれ組

高く積み上げたい！
～友達と力を合わせて～

絵本「100かいだてのいえ」に刺激を受け、箱積み遊びが始まりました。始めは空き箱を積んでいたのですが、「もっと高く積みたいな」と積み上げ競争へと変わっていきました。

「箱が高くなると届かない」「これ(巧技台)使ったら?」「〇〇くん箱取って!」など遊びの中で自然と友達との関わりも増え、「〇〇チームは〇センチ!」など友達と力を合わせる楽しさも感じていたようでした。

また、繰り返し遊ぶ中で、「この箱はバランスが悪い」や「この場所に(巧技台)置くとグラグラする」と積み方や巧技台の置き場所などに気付く様子も見られました。



身近な生き物との関わりの中で

園庭にバッタが跳び回る季節になり見つけたバッタを学級で飼育することにしました。草を食べている様子や抜け殻など観察したり世話をしたりする中で気付きもあり、関心を深めていった子どもたち。

ある日、虫かごの蓋を開けてどこに跳んでくるのかなと試してみると、跳んでいった先は何と草を入れてお世話をしていていた子のところでした。そのことがきっかけとなり、もっと仲良くなりたいなとエサとなる草を入れたり、服や頭にのせて触れ合ったりして「しょこちゃん」など名前をつけ愛着をもって関わる姿が見られるようになりました。

